



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

一宮ロータリークラブ
2021-2022年度
会長方針 梯 國彦

先輩諸氏が積み重ねてこられた歴史と伝統に輝く一宮ロータリークラブの会長を拝命し、身に余る光栄であると共に、未来に引き継ぐ、その責任の重さを痛感しています。

新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活・仕事・ロータリー活動など多くの面で支障が生じています。

ニューノーマルという新常态の中で、アフターコロナに訪れる新しい働き方・生活様式などコロナで分断された状況を、結束して回復への道を照らし、力強く歩み続けていかなければなりません。

2021-22年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ氏は、活動テーマとして

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」を提唱されました。

人生では与える者、奉仕する者になりなさい。ただし与える時も奉仕する時も謙虚になりひざまずいて「与えさせていただけますか」「奉仕させていただけますか」とお願いする気持ちになりなさいと言われていました。

2021-22年度 第2760地区ガバナー 沓名 利裕氏は、地区方針を

「チェンジロータリー 新時代への成長に！」

～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～ です。

親睦を中心としたロータリークラブから奉仕できるロータリークラブに変わろうとしています。時代の要求、ニーズに合うロータリークラブに変化していくことが大切だと言われています。

2021-2022年度 一宮ロータリークラブの運営方針を

「例会に来て良かった！」とさせていただきます。

例会は、1. 会員の事業・生活・生き方に有益な情報や方法を提供する場である。

2. 会員同士が意見や情報を交換して経験を語り合い、誠実な人柄に触れながら敬愛と感動を深めていく場である。

3. 奉仕の心を学び、理解し、実践の意欲が湧き上がる場である。

を念頭に「親睦」と「学び」の二つがロータリーの根幹であり、それこそがクラブ運営の真髄だと信じ、行動してまいります。

本年一年間、会員の皆様の友愛と、ご指導ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。